

### 3 研究のまとめ

#### (1) 研究の成果

今回の授業実践では、音楽の特徴を捉えて音楽を聴き味わうことができるように、視覚と聴覚を関わらせながら音楽を知覚・感受する場面を小・中学校で共通して設定しました。具体的には、児童生徒が聴き取り感じ取ったことをより深められるように、楽曲の構造が分かるような板書の工夫をしたり楽譜で音楽の特徴を視覚的に確かめたりしました。その結果、旋律の特徴や楽曲の構造についてより深く理解し、知覚・感受する児童生徒が増えました。特に、小学校では「反復」「変化」、中学校では「形式」「構成」「テクスチュア」など、音楽の前後関係や音楽全体を踏まえて音楽を捉えることができるようになってきました。

また、様々な形態での交流活動を設定しました。ペアやグループなど学習活動に応じた交流活動を仕組むことで、自分の考えを深めたり多様な考えに触れたりし、音楽を聴き味わうことにつながることができました。

事前調査の結果、児童生徒の多くが〔共通事項〕の用語を知らなかったり、知っていても誤った意味で捉えていたりしていることが分かりました。〔共通事項〕の用語の意味を正しく認識できるようになったことで、それらの言葉を正しく使って知覚したことを言葉などで表現する児童生徒が増えました。

#### (2) 研究の課題

「音楽を聴いて感じたことや思ったことを書くこと」と「友達に話すこと」については、そのよさや楽しさを実感させるところまでには至りませんでした。よさや価値を見出すためには、継続的な交流の場の設定をする必要があります。交流活動で自分の考えが認められ深まったという経験を積み重ねることによって、交流活動のよさを実感できる児童生徒の育成につながると考えます。

### 4 参考文献・参考資料

《参考文献》

- ・ 文部科学省 『小学校学習指導要領解説 音楽編』 平成20年 8 月
- ・ 文部科学省 『中学校学習指導要領解説 音楽編』 平成20年 9 月
- ・ 文部科学省 『言語活動の充実に関する指導事例集【小学校版】』 平成23年10月
- ・ 国立教育政策研究所 『特定の課題に関する調査(音楽)調査結果』 平成22年 7 月
- ・ 国立教育政策研究所 『小学校学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点(音楽)』 平成27年 2 月
- ・ 国立教育政策研究所 『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校音楽】』 平成23年11月
- ・ 吉富 功修・三村 真弓 『第2版 小学校音楽科教育法』 平成26年 3 月
- ・ 佐藤 日呂志・坪能由紀子 『小学校新学習指導要領の展開 音楽科編』 平成21年 1 月
- ・ 鑑賞振興財団 『これからの鑑賞の授業2』 平成26年 5 月
- ・ 山本文茂 『これからの中学校音楽ここがポイント』 平成23年11月